

ロイヤル・カリビアンがクリーンエネルギーの未来に向けてクルーズ船数を拡大

アイコンクラス3隻目は環境に優しい最新機能を搭載

2019年7月2日、マイアミーロイヤル・カリビアン・クルーズ・リミテッド（NYSE: RCL）は、マイヤートウルク造船と契約し、アイコンクラス3隻目のクルーズ客船を2025年引き渡し予定で発注したと発表しました。

同船は、2022年と2024年に引き渡し予定の姉妹船二隻に続き、クリーンテクノロジーの分野、客船のデザインや洋上初のアクティビティを搭載するなど斬新なアイデアをカタチにし、業界に旋風を巻き起こしてきたロイヤル・カリビアン・インターナショナルに仲間入りします。

ロイヤル・カリビアン・クルーズ・リミテッド会長兼CEO リチャード・フェインは、「アイコンクラスへの最新客船追加を発表させていただき非常に嬉しく思います。これにより洋上における当社のクリーンパワー技術への取り組みを確認していただけます。当社は、環境に優しい最新の応用技術を活用した、液化天然ガスを動力とするクルーズ客船の新しいクラスを設けることになりました。革新的造船技術により二酸化炭素排出量を削減しエネルギー効率を上げることで、よりクリーンな未来を築いていけると考えています。」と述べています。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社長兼CEO マイケル・ベイリーは、「ロイヤル・カリビアンにとってエキサイティングな時代到来です。マイヤートウルク社というまたとないパートナーを得て、注目の客船クラスを代表することになる3隻に命を吹き込みます。今回の追加となる3隻目の発注で、当社のビジョンをカタチにしていくことは、革新的デザインおよび省エネ技術・工学への当社の自信の証であり、それらは間違いなくアイコンクラスがすべてを変えていく原動力となることでしょう。」と述べています。

マイヤートウルクCEO ジャン・マイヤー氏は、「アイコンクラスの船舶設計と常識破りの客船を建造する当社の能力に、アイコンクラス一隻目引き渡し前から信頼を置いていただき、ロイヤル・カリビアンには非常に感謝しています。」と述べています。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、50年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。船上ではブロードウェイスタイルのエンターテイメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にお楽しみいた

だけの多種多様なプログラムをご提供します。当社は世界で最も革新的なクルーズ船 26 隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、アラスカ、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは Travel Weekly Readers Choice Awards で 16 年連続「Best Cruise Line Overall (クルーズ・ライン総合第 1 位)」に選ばれています。